議題１　資料

令和７年度の事業報告について

（水道事業）

令和8年10月14日

長岡京市上下水道事業審議会

かしこ暮らしっく
長岡京

水道事業　報告項目

＊ページ番号は中間見直し改訂版冊子に対応。
＊タイトル等は、改訂版冊子Ｐ.５「水道事業の具体的な取り組みの現状と目標値」に対応。

第3章　今後の水道事業環境について

Ｐ　６　人口と水需要の見込み
Ｐ　８　管路の更新
Ｐ１０　職員の現状

第4章　水道事業の具体的な取り組みについて

第1節　安全

P12　二元水源の確保
P13　地下水質の常時監視
P16　鉛製給水管の取り替え促進

第2節　強靭

P17　施設の耐震化
P18　基幹管路の耐震化
P20　主要幹線管路の計画的更新
P21　漏水調査の継続
P23　災害時連携の充実

第3節　持続

P24　経営基盤の強化（適正な料金算定と料金体系の見直し）
P28　エネルギーの有効利用
P31　法令遵守の推進
P33　広報活動の充実による情報公開の推進

第5章　経営戦略

P39　経営戦略による収支計画（重点基準目標）

かしこ暮らしっく 長岡京

人口と水需要の見込み

ビジョン改訂版P6

令和7年度の人口と有収水量（予測値と決算値の比較）			
区　分	令和7年度予測値 （中間見直し後）	令和7年度決算値	比　較
人　口	82,762人	81,856人	△906人
家庭用水量	6,621千㎥	6,622千㎥	1千㎥
工場用水量	839千㎥	855千㎥	16千㎥
営業用ほか水量	1,134千㎥	1,162千㎥	28千㎥
水量合計	8,594千㎥	8,639千㎥	45千㎥ （0.5%）

※　決算値水量は、ほぼ予測値どおりに推移

管路の更新

ビジョン改訂版P8

令和7年度配管工事実績

No.	工 事 名	工 事 概 要
①	神足3丁目地内配水管布設替工事	φ150mm DIP(GX) L=50.1m φ100mm DIP(GX) L=100.3m 他
②	東神足2丁目地内配水管布設替工事	φ 75mm DIP(GX) L=190.8m 他
③	天神1丁目地内配水管布設替工事	φ 75mm DIP(GX) L=118.0m 他
④	神足森本地内配水管布設替工事その3	φ100mm DIP(GX) L=53.4m φ 75mm DIP(GX) L=104.5m 他
⑤	開田3丁目地内配水管布設替工事	φ200mm DIP(GX) L=182.7m φ150mm DIP(GX) L=20.1m 他
⑥	神足森本地内配水管布設替工事その4	φ100mm DIP(GX) L=149.3m 他
⑦	東ポンプ場解体関連送配水管切替工事	φ300mm DIP(GX) L=39.6m 他
⑧	開田3･4丁目地内配水管布設替工事	φ150mm DIP(GX) L=259.3m 他

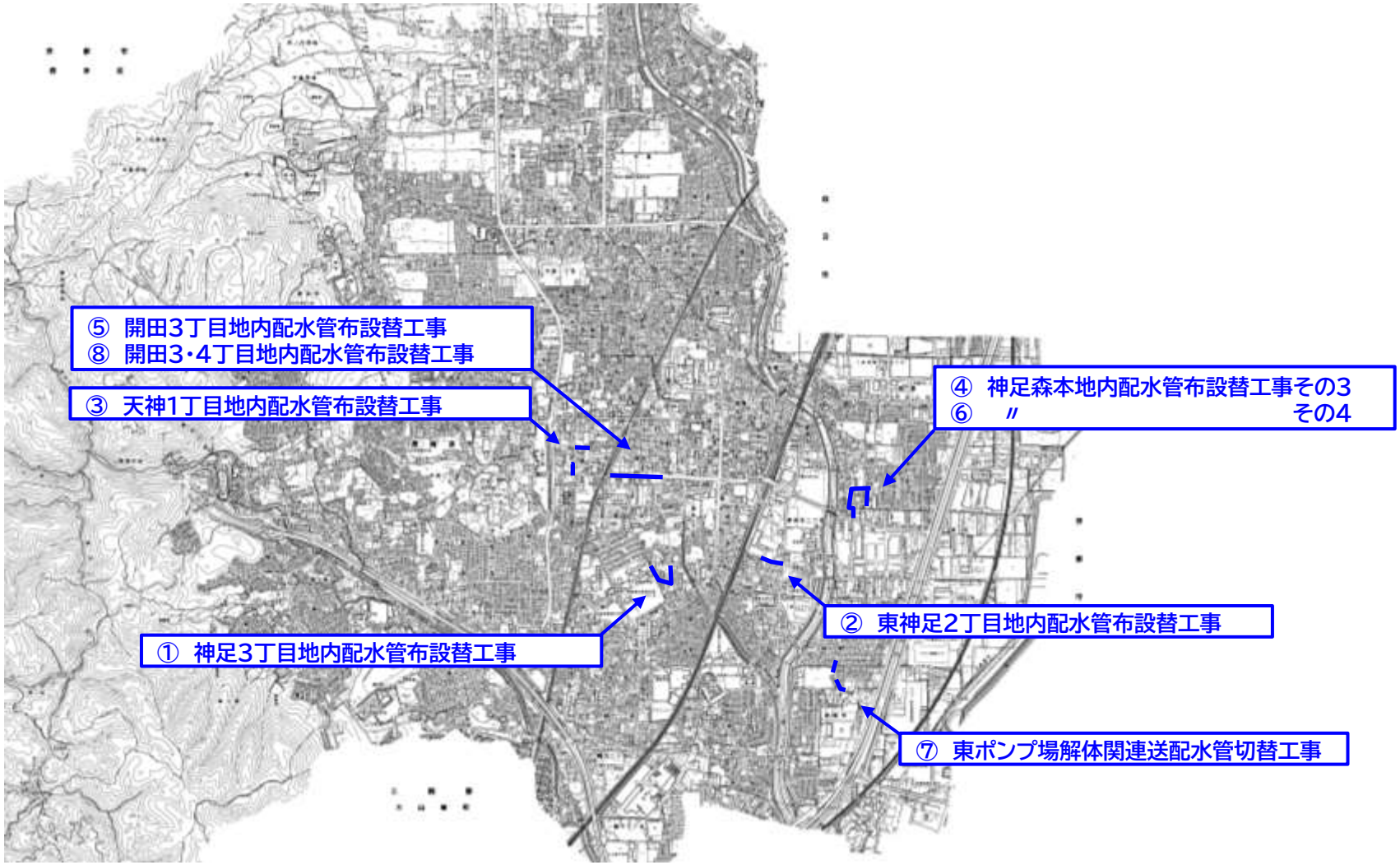
※ DIP(GX) ダクタイル鋳鉄管(GX形)

全管路延長（令和7年度末）	令和7年度	
	更新延長	更新率
291.031km	2.073km	0.71%

管路の更新

ビジョン改訂版P8

令和7年度事業実施箇所図

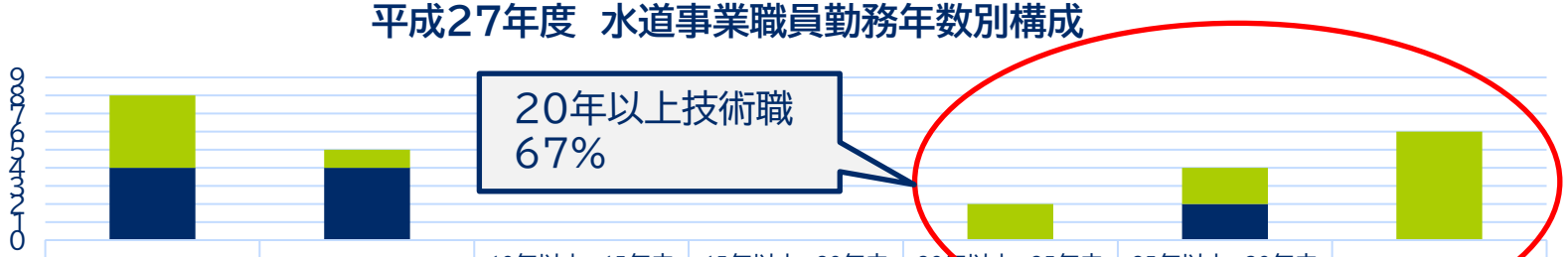


かしこ暮らしっく 長岡京

職員の現状

ビジョン改訂版P10

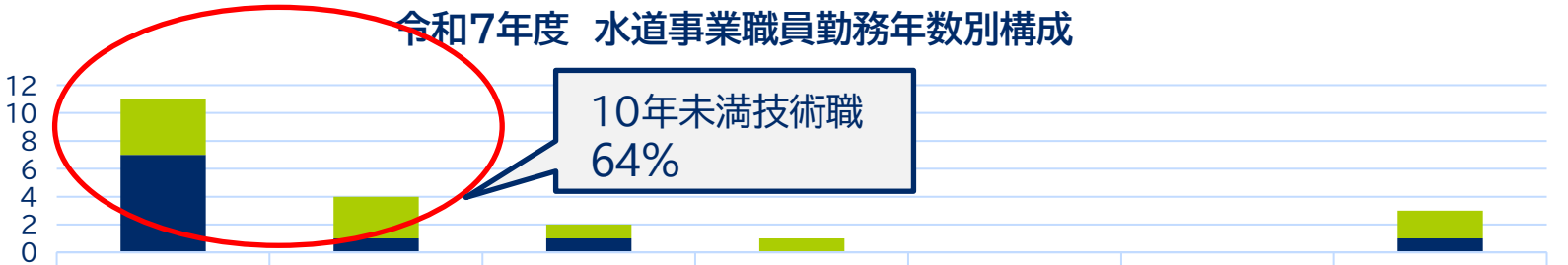
平成27年度　水道事業職員勤務年数別構成



	1年以上~5年未満	5年以上~10年未満	10年以上~15年未満	15年以上~20年未満	20年以上~25年未満	25年以上~30年未満	30年以上
技術職	4	1			2	2	6
事務職	4	4				2	

■事務職　■技術職

令和7年度　水道事業職員勤務年数別構成



	1年以上~5年未満	5年以上~10年未満	10年以上~15年未満	15年以上~20年未満	20年以上~25年未満	25年以上~30年未満	30年以上
技術職	4	3	1	1			2
事務職	7	1	1				1

■事務職　■技術職

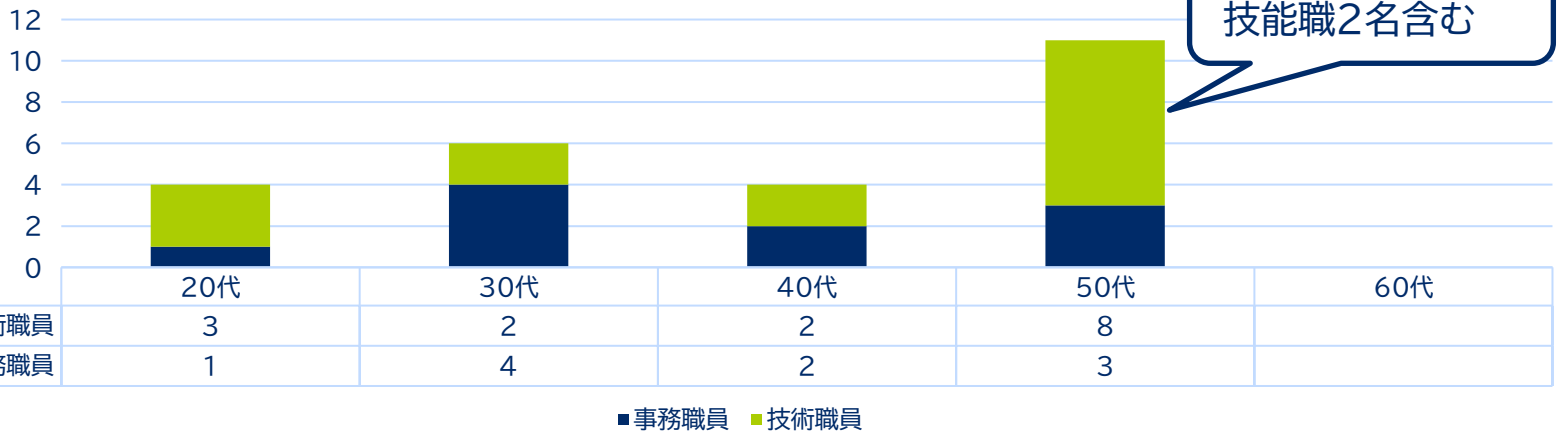
※ 会計年度任用職員、再任用職員を除く水道事業会計職員。

かしこ暮らしっく 長岡京

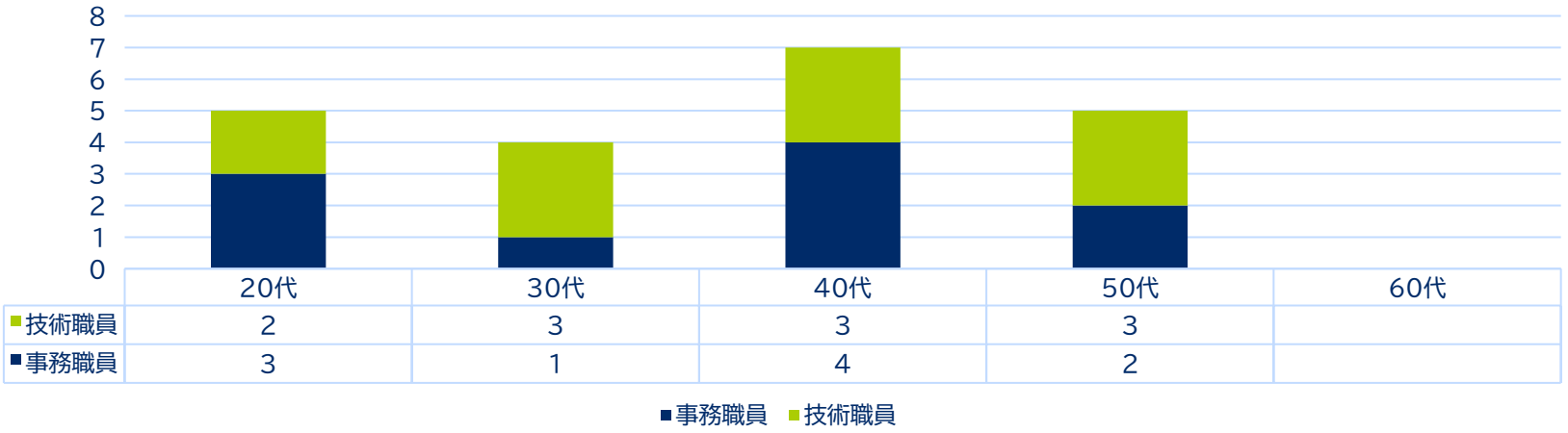
職員の現状

ビジョン改訂版P10

平成27年度　水道事業職員年齢別構成



令和7年度　水道事業職員年齢別構成



※ 会計年度任用職員、再任用職員を除く水道事業会計職員。

かしこ暮らしっく 長岡京

二元水源の確保

ビジョン改定版P12

安定した水の供給のため2つの水源を確保しています。ご家庭への水道水は、自己水（地下水）と府営水（表流水）をほぼ50%にブレンドしています。今後も引き続き2つの水源を確保し、安定供給を持続する方針です。また、京都府には、各受水市町の状況を踏まえ、効率的な運用となるよう京都府営水道事業等に関する要望書を提出しています。

令和7年度：PFOS及びPFOAの現状と対応

本市では国の水道法改正に先駆けて、水質管理強化策として各取水井戸においても毎月の水質検査を実施し、「長岡京市取水井戸等運用基準」に基づき運用しています。

令和7年度中、一部の井戸にて基準値（当時「暫定目標値」）を超えたため一定期間対象井戸の取水を停止し、不足分は府営水の増量で対応しています。

このため令和7年度決算値は、目標としている府営水ブレンド率50%をやや上回る58%となりました（次ページ参照）。

今後も、二元水源を活用し、安全で安心な水道水を安定して供給していきます。

二元水源の確保

ビジョン改訂版P12

給 水 量 内 訳

項　　目			6年度 決 算 ①	7年度 決 算 ②	比 較 増 △ 減 ② － ①	
自己水（地下水）		③ （㎥）	3,990,474	3,624.984	△365,490	△9.2 %
府営水（表流水）	大口5社	④ （㎥）	612,908	691,553	78, 645	12.8 %
	一　般	⑤ （㎥）	4,551,933	4,996,127	444, 194	9.8 %
	計	⑥ （㎥）	5,164,841	5,687,680	522,839	10.1 %
合　計		⑦	9,155,315	9,312,664	157, 349	1.7%
市民向け府営水ブレンド割合			53.3	58.0	4.7	－

※　市民向けブレンド割合算式　［⑤÷（③＋⑤）］

・上下水道ビジョンでは、市民向け水道水（③＋⑤）における府営水のブレンド率の目標値を50%としていますが、令和7年度は58.0%となり、前年比4. 7ポイントの増加となりました。

※　大口5社（④）はブレンドせず、府営水のみを供給しています。

地下水質の常時監視

ビジョン改訂版P13

1. 令和7年度の事業報告

採水場所	東第２浄水場（混合原水）			
年度	令和７年度			
項目	最高値	最低値	平均値	検査回数
大腸菌	全検査不検出			12
シス-1, 2-ジクロロエチレン及び トランス-1, 2-ジクロロエチレン	0.004未満	0.004未満	0.004未満	12
トリクロロエチレン	0.001未満	0.001未満	0.001未満	12
ペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS） 及びペルフルオロオクタン酸（PFOA）	0.000041	0.000033	0.000037	12

1　水質基準値：大腸菌（検出されないこと）、シス-1, 2-ジクロロエチレン及びトランス-1, 2-ジクロロエチレン（0.04mg/L以下）、トリクロロエチレン（0.01mg/L以下）

2　目標値：ペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）及びペルフルオロオクタン酸（PFOA）（0.00005mg/L以下（暫定））

2. 令和8年度の取り組み

○休止中井戸の使用可否調査

過去に休止となった井戸について調査を実施

⑴ 対象とする水道施設

・東第2浄水場に導水管が接続されている井戸（R8は東5-3号井戸）

⑵ 水中テレビカメラ調査及び水質調査

・水中テレビカメラによるケーシング管内調査

・国が定める水質基準や水質管理目標設定項目等について水質調査

⑶ 上記調査結果に基づいた今後の検討

・不可の場合 ：他の井戸について調査を実施するかの検討

・可の場合　　：洗浄、浚渫、揚水試験等の手法の検討及び予算化

鉛製給水管の取り替え促進

ビジョン改訂版P16

指　　標	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値
鉛製給水管率（%） （A401）	7.5	6.0	5.4	4.6	4.2	3.7

令和6年度 中間目標値	令和6年度 検証	令和11年度 計画目標値
6.0	達成	0.0

・令和7年度の鉛製給水管取替件数は120件、鉛製給水管率は0.5ポイント減少し3.7%となりました。
・近年は鉛製給水管の取替件数が鈍化傾向にあります。
計画目標値を達成するため、取替施工業者への発注件数を増やす等して取替えを加速させます。

施設の耐震化

ビジョン改訂版P17

指　　標	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値
配水池の耐震化率（%） （B604）	98.6	98.6	98.6	98.6	98.6	98.6

令和6年度 中間目標値	令和6年度 検証	令和11年度 計画目標値
98.6	達成	100.0

・配水池については概ね耐震補強工事を完了しています。耐震補強工事が完了していない山間部等の配水池については、管網を形成しておらず施工期間中の代替水源の確保に課題があることから、令和11年度の最終目標値の達成は厳しい状況です。
・施設の補強や更新以外にも、従来の配水方式の見直しも視野に入れるなど様々な検討が必要になります。

基幹管路の耐震化

ビジョン改訂版P18

指　　標	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値
基幹管路の耐震適合（%） （B606-2）	49.4	49.9	50.5	50.6	51.1	51.4

令和6年度 中間目標値	令和6年度 検証	令和11年度 計画目標値
52.0	ほぼ達成	55.0

・今後は、国からの要請により策定した「上下水道耐震化計画（R7～R11年度）」や「鋳鉄管更新計画（R8～R17年度）」に基づき、口径を問わず、重要施設へ接続する管路の耐震化や、緊急輸送路を中心とした老朽管の更新に取り組む必要があることから、令和11年度の最終目標値の達成は厳しい状況にあります。
・基幹管路の耐震適合率については、業務指標（PI）の「基幹管路のうち耐震適合性のある管路延長」を基準として算出しており、本市では送水管、導水管、配水管（Φ300mm以上）を基幹管路として位置づけています。

主要幹線管路の計画的更新

ビジョン改訂版P20

指　　標	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値
管路の更新率（%） （B504）	0.51	1.15	0.45	0.43	0.60	0.71

令和6年度 中間目標値	令和6年度 検証	令和11年度 計画目標値
0.70	ほぼ達成	1.00

＜管路を計画的に更新するための課題＞

・技術継承
　水道に関する技術を幅広く習得するには一定の時間を要する上、ベテラン職員の退職により指導者が不足する中、短期サイクルでの人事異動では必要な技術継承が十分ではなく、工事発注に必要な技術力の低下が懸念されます。

・事業量に見合う技術職員の確保
　上下水道ビジョンに基づく計画的な更新に加え、全国的な漏水事故を受け、国が要請する管路更新も併せて進めていく必要がある等、事業量が増大する中、継続的な工事発注に必要となる人員確保について厳しい状況が続いています。

・工事への理解促進
　様々な事情により、やむを得ず住民負担が生じる工事（夜間工事、交通規制、断水等）について、理解が得られない場合も多く、計画通りの工事進捗が困難なケースが多くなっています。

漏水調査の継続

ビジョン改訂版P21

指　　標	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値
有収率（%） （B112）	96.0	96.5	96.3	96.3	94.7	92.8

令和6年度 中間目標値	令和6年度 検証	令和11年度 計画目標値
93.5	達成	94.0

令和7年度の有収率は前年度より1．9ポイント低下しています。近年の有収率低下を受け、漏水調査を実施、市内複数箇所にて漏水を確認しています。漏水修繕を実施し、有収率の回復・向上させるとともに、今後も漏水調査を実施していきます。

令和7年度有収率　92．8%（＝①÷②×100）
年間有収水量：8,639,069㎥　・・・　①
年間配水量　：9,312,664㎥　・・・　②

災害時連携の充実

ビジョン改訂版P23

災害時を想定した訓練に参加し、関係機関との連携強化による災害対応能力の向上に努めました。

■ **日本水道協会　京都府支部の防災訓練に参加**

令和7年11月10日　　庁舎内で情報伝達訓練
令和7年11月11 日　　応急給水訓練
訓練内容：府内市町で災害が発生し、近隣市町が応急給水活動を実施
参加団体：1府15市8町

■ **近畿地方DMAT（ディーマット）ブロック訓練**

令和7年11月22日　京都済生会病院へ給水車派遣
訓練内容：府内で大規模断水が発生、給水活動を実施
参加団体：近畿地方DMATブロック全域

■ **京都府営水道事故等対応訓練**

令和8年1月29日　大地震発生時を想定した市町への緊急送水等の訓練
訓練内容：初期対応から給水再開までの復旧作業・受水市町との情報伝達訓練
参加団体：京都府、府営水道受水10市町

経営基盤の強化（適正な料金算定と料金体系の見直し）

ビジョン改訂版P24

指　　標	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値
経常収支比率（%） （C102）	106.48	101.52	99.15	102.20	100.96	102.46
給水原価（円/㎥） （C115）	187.3	192.8	196.3	190.9	193.8	194.8

	令和6年度 中間目標値	令和6年度 検証	令和11年度 計画目標値
経常収支比率	100%以上	達成	100%以上
給水原価	抑制	達成	抑制

・経常収支比率は100％以上を保持しており、昨年度より1.5ポイント改善しました。
・給水原価の抑制は図れているものの、物価高騰等による委託費等の増加により、昨年度より1．0ポイント増加し、類似団体より高い状況となっています。

エネルギーの有効利用

ビジョン改訂版P28

太陽光発電（平成19年3月設置）

東第2浄水場	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値
電気使用量実績（千kWh）	3,471	1,954	2,877	3,473	3,483	3,282
太陽光発電実績（千kWh）	22	16	20	22	22	22

※　令和3・4年度は耐震化工事があったため、電気使用量の実績値が少なくなっている。

小水力発電（平成29年3月、令和3年1月に設置）

府営水受水施設	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値
北ポンプ場（千kWh）	177	150	138	165	178	171
東配水池内（千kWh）	9	86	79	78	83	93

※　小水力発電設備（府営水道施設の高低差を利用して発電）・・民間からの出資

法令遵守の推進

ビジョン改訂版P31

倫理研修等により職員の倫理観の向上に努めています。

毎年度、上下水道部内で2回の倫理研修を行い、不祥事の発生を抑止できるよう努めています。

【令和7年度実施概要】

① 上下水道部集合研修　実施日：6月23日
「二度と不祥事を起こさないための継続した取り組み」
講師：上下水道部長

② 上下水道部集合研修　実施日：12月12日、12月19日（いずれか参加）
「全国の倫理違反事例、本市過去事例他」
講師：本市法令遵守マネージャー



法令遵守マネージャー講義（令和6年度）

広報活動の充実による情報公開の推進

ビジョン改訂版P33

上下水道事業の理解促進とサービス向上に向け、様々な情報ツールを活用し周知に努めました。

従来は紙媒体による情報提供や手続きが中心でしたが、可能な限りHP（ホームページ）やLINEを活用し、即時性のある事項や随時確認の利便性向上に努めています。

- 広報紙（水だより） 年2回発行（R7.8.15、R8.3.1）・全戸配布しました。
- HP掲載（水質検査結果の公表、開閉栓手続き、凍結の注意のおしらせ等）
- 「水道年報」、「長岡京市の下水道」等を発行。HP掲載。
- デジタルサイネージを活用した雨水タンクの募集。
- 出前講座5回実施。（小学校5回）
- 工事実施（対象区域の方にちらしなどで工事内容等を周知。）



デジタルサイネージ

経営戦略による収支計画（重点基準目標）

ビジョン改訂版P39

	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値
経常収支比率　*再掲 （100%以上）	106.48	101.52	99.15	102.20	100.96	102.46
自己資金残高 （9億円以上）	22.73	23.05	21.79	24.97	21.18	21.65
企業債残高対給水収益比率 （300%未満）	270.26	291.62	297.54	294.82	290.62	291.03

	令和6年度 中間目標値	令和6年度 検証	令和11年度 計画目標値
経常収支比率	100%以上	達成	100%以上
自己資金残高	9億円以上	達成	9億円以上
企業債残高対 給水収益比率	300%未満	達成	300%未満

令和7年度の事業報告について
（下水道事業）

令和8年10月14日

長岡京市上下水道事業審議会

かしこ暮らしっく 長岡京

下水道事業　報告項目

＊ページ番号は中間見直し改訂版冊子に対応。
＊タイトル等は、改訂版冊子Ｐ.４５「下水道事業の具体的な取り組みの現状と目標値」に対応。

第3章　今後の下水道事業環境について
P46　人口と汚水有収水量の見込み

第4章　下水道事業の具体的な取り組みについて
第1節　安全安心（災害の軽減を図る下水道）
P49　浸水対策
P49　（浸水対策）いろは呑龍トンネル接続に伴う整備
P51　（浸水対策）犬川雨水幹線整備
P53　地震対策・雨水事業
P53　地震対策・汚水事業
P55　災害用マンホールトイレ
P55　雨水貯留タンク

第2節　環境保全（公共用水域の水質保全を図る下水道）
P57　水洗化率の向上
P58　管路整備（汚水事業）
P59　マンホールポンプ整備

第3節　健全経営（継続して健全な経営を図る下水道）
P62　組織体制の強化
P64　広域化の取り組み

第5章　経営戦略
P70　経営戦略による収支計画（重点基準目標）

人口と汚水有収水量の見込み

ビジョン改訂版P46

令和7年度の人口と有収水量（予測値と決算値の比較）			
区　分	令和7年度予測値	令和7年度決算値	比　較
水洗化人口	82,445人	81,313人	△1,132人
家庭用水量	6,779千㎥	6,585千㎥	△194千㎥
工場用水量	1,480千㎥	1,670千㎥	190千㎥
営業用ほか水量	1,088千㎥	1,167千㎥	79千㎥
水量合計	9,347千㎥	9,422千㎥	75千㎥ （0.8%）

※　有収水量の予測値は、中間見直し後の水量

浸水対策

ビジョン改訂版P49

指標	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値
10年に一度の雨量に対応する整備率（%）	67.7	69.8	71.9	71.9	74.0	74.0

令和6年度 中間目標値	令和6年度 検証	令和11年度 計画目標値
75.4	ほぼ達成	80.0

令和7年度に新たに供用開始した施設はありません。

・中間目標値75.4%には令和8年度に神足雨水ポンプ場が供用開始することで到達する見込みです。

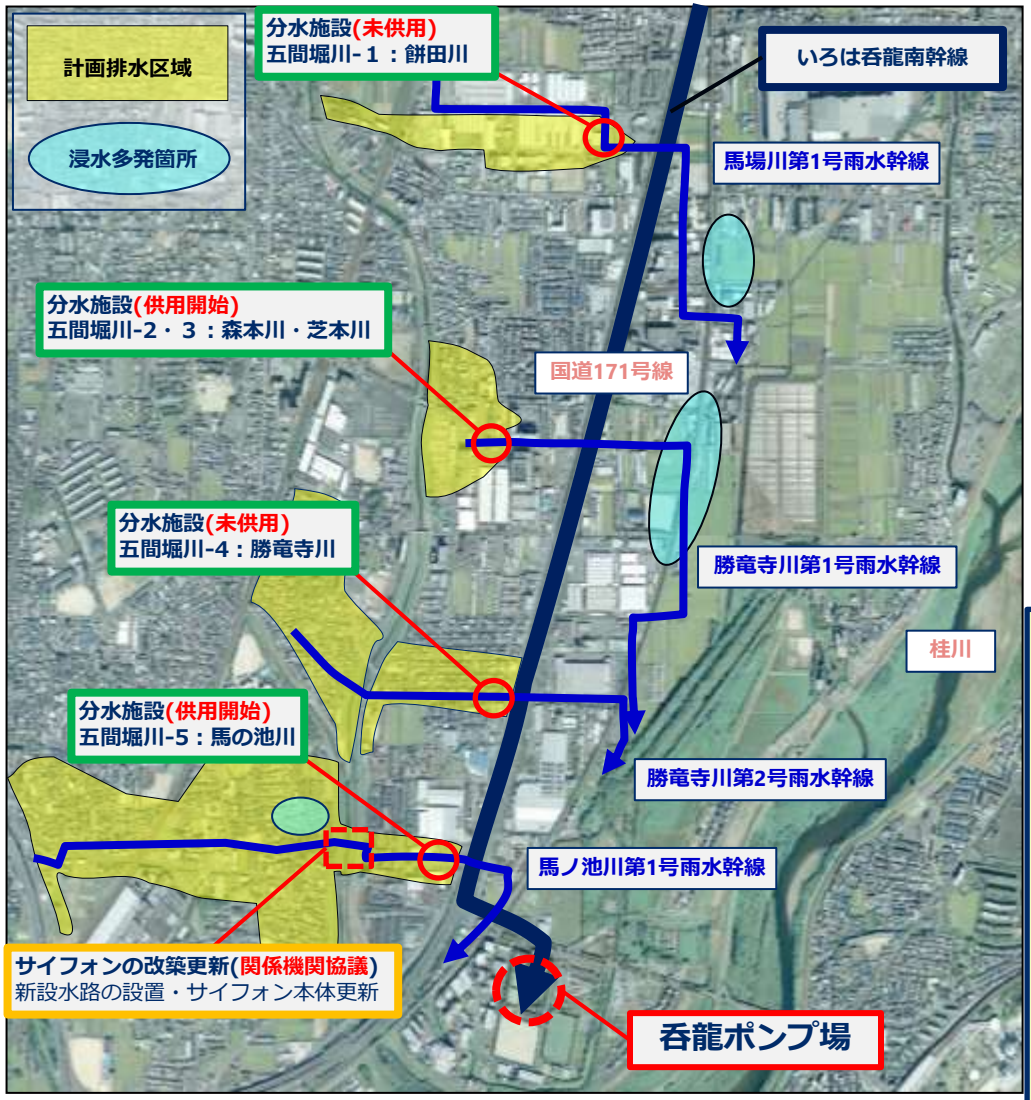
・いろは呑龍トンネル接続事業は、施設用地の確保に目途が立ったため、令和9年度中の供用開始を目指し事業を実施しています。

・神足雨水貯留施設の築造工事は関連事業である府道拡幅事業との調整により、令和9年度の供用開始を目指し事業を実施しています。

・令和11年度の目標値達成に向け、残るいろは呑龍トンネル分水施設の整備および分水施設の整備が完了した馬ノ池川の上流水路の改築事業を推進します。

いろは呑龍トンネル接続に伴う整備
（馬ノ池川・勝竜寺川・馬場川・和井川排水区）

ビジョン改訂版P49







水位が上がると施設内に雨水を流入させる分水施設を築造（計画位置）





令和7年度に、いろは呑龍トンネル接続に伴う整備の一環として、五間堀川-1（餅田川）および五間堀川-4（勝竜寺川）の接続施設の位置が確定したことを受け、分水施設の実施設計を行いました。今年度は京都府と情報共有を行いながら、早期の工事完了を目指して事業を推進してまいります。

接続工事が完了した馬ノ池川については、上流側の河川水路整備に取り組んでおります。令和7年度は、現行施設の改築更新を行うとともに、新たなバイパス水路の築造を行うための実施設計を行いました。今年度より、令和11年度の全体完成を目指し、工事に着手する予定です。

犬川雨水幹線整備（犬川第1・2・3排水区）

ビジョン改訂版P51



神足雨水ポンプ場貯留施設築造工事

令和6年度に、第Ⅰ期(817㎥)分の雨水貯留が可能となりました。令和7年度は第Ⅱ期分の詳細設計を実施し、今年度より、令和9年度の全体完成に向けて築造工事に着手します。

雨水貯留量
全体1,169 ㎥(全体)

神足雨水ポンプ場築造工事

令和6年4月から工事を着手し、令和7年度には建屋の建築、機械設備の設置を行いました。令和8年内の供用開始に向けて工事を実施しています。

ポンプ排水能力
1.0 ㎥/秒から2.2 ㎥/秒





小畑川関連整備（風呂川・小畑川第1・第2排水区）

ビジョン改訂版P51

今里雨水ポンプ場



今里雨水貯留幹線



・令和7年度は、月点検（11回）、年点検（1回）の定期点検を行うとともに大雨によるポンプ稼働時の緊急時対応を実施しました。
・引き続き、ストックマネジメント計画に基づく点検を行い、耐用年数が10年を迎える蓄電池、23年を迎える機械施設・電気施設の更新計画の策定を進めていきます。

更新予定の蓄電池



地震対策・雨水事業

ビジョン改訂版P53



神足雨水ポンプ場



神足雨水貯留施設

神足雨水ポンプ場・貯留施設
（犬川排水区）

ポンプ場は建て替えにより耐震性能を有した施設として更新

貯留施設は耐震性能を有した施設として新設

令和8年度にポンプ場完成

令和9年度にⅡ期貯留施設完了により全体供用開始予定

今里雨水ポンプ場・貯留施設
（風呂川排水区）

ポンプ場及び貯留施設は、平成18年供用開始当時の耐震性能を有しています。

地震対策（汚水事業）

新規事業

長岡京市上下水道耐震化計画

長岡京市上下水道耐震化計画【第１期計画（R7～R11）】の予定

年度	内容
令和6年度	計画策定
令和7年度	業務発注の準備（資料整理・情報収集）
令和8年度	設計委託（全体計画・第1期計画・詳細設計）
令和9年度	設計委託（詳細設計）・修繕工事
令和10年度	修繕工事
令和11年度	修繕工事

本計画は、平成19年度の下水道地震対策緊急整備計画における内容の見直しと「下水道施設の耐震対策指針と解説2025」の改訂に伴う耐震性能の強化であり、その準備となる資料整理と情報収集をしました。

全体計画【■重要施設３８箇所（小中学校、保育所、公共施設等）】

第1期計画【■長岡京市役所■救護医療機関（４）京都済生会病院、新河端病院、長岡京病院、千春会病院】

【管渠延長＝約4,000m、マンホール個数＝124箇所】

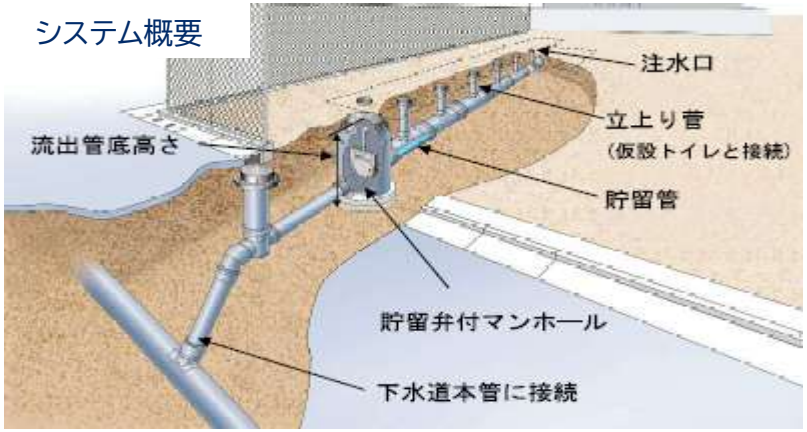
災害用マンホールトイレ

ビジョン改訂版P55

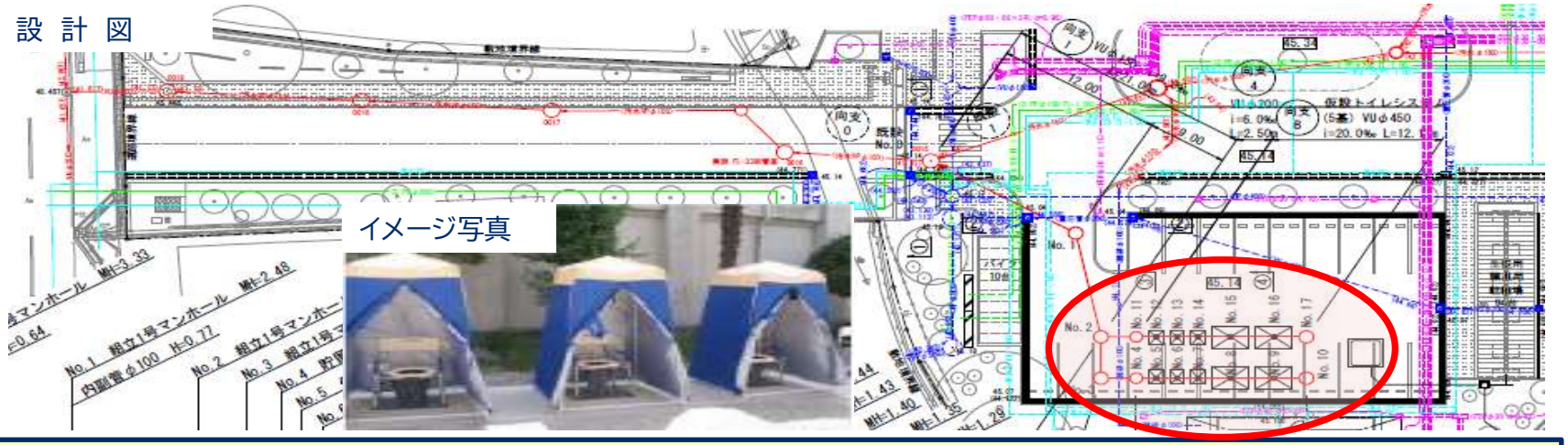
共生型福祉施設



システム概要



設 計 図



イメージ写真

・令和7年度は、共生型福祉施設の構想により向日が丘支援学校（京都府教育庁）の敷地へ災害用マンホールトイレを設置（10基）するため、設計業務を実施しました。
・令和8年度以降は、引き続きその整備工事と新設される防災・スポーツ施設へ整備を予定しています。

雨水貯留タンク

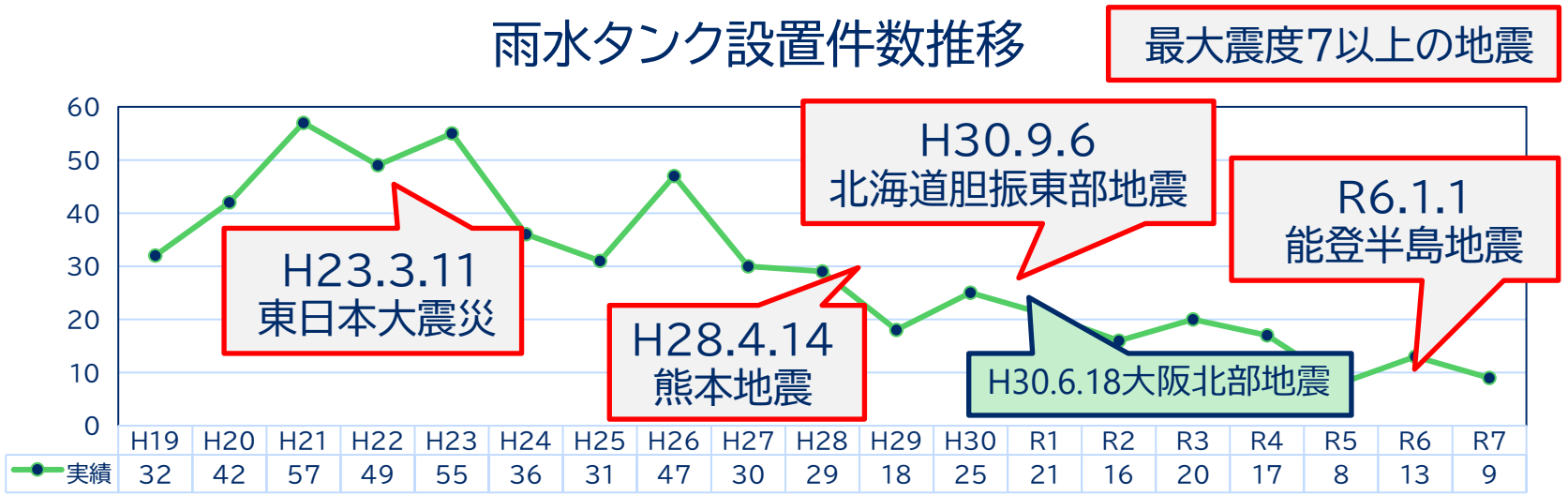
ビジョン改訂版P55

指標	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値
雨水貯留タンク設置総数（件） 下段（ ）単年度	488 （16）	508 （20）	525 （17）	533 （8）	546 （13）	555 （9）

・令和6年度よりデジタルサイネージや阪急バス、はっぴいバスでの周知を強化
・令和7年度より防災出前講座で補助金の活用について周知

令和6年度 中間目標値	令和6年度 検証	令和11年度 計画目標値
810	未達成	1,010

雨水タンク設置件数推移



水洗化率の向上

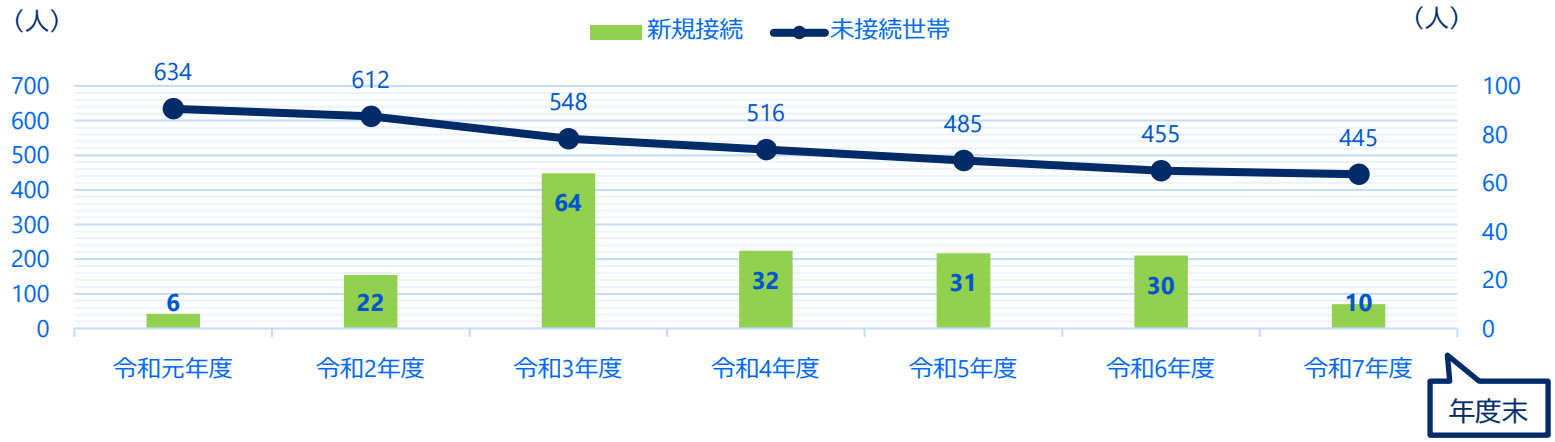
ビジョン改訂版P57

指　　標	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値
下水道水洗化率（%）	99.2	99.3	99.4	99.4	99.4	99.5

・令和7年度:個別訪問件数＝86件
・7年間で195件の公共下水道接続
・約30.5%の新規接続（195÷640）

令和7年度 検証	令和11年度 計画目標値
ほぼ達成	100

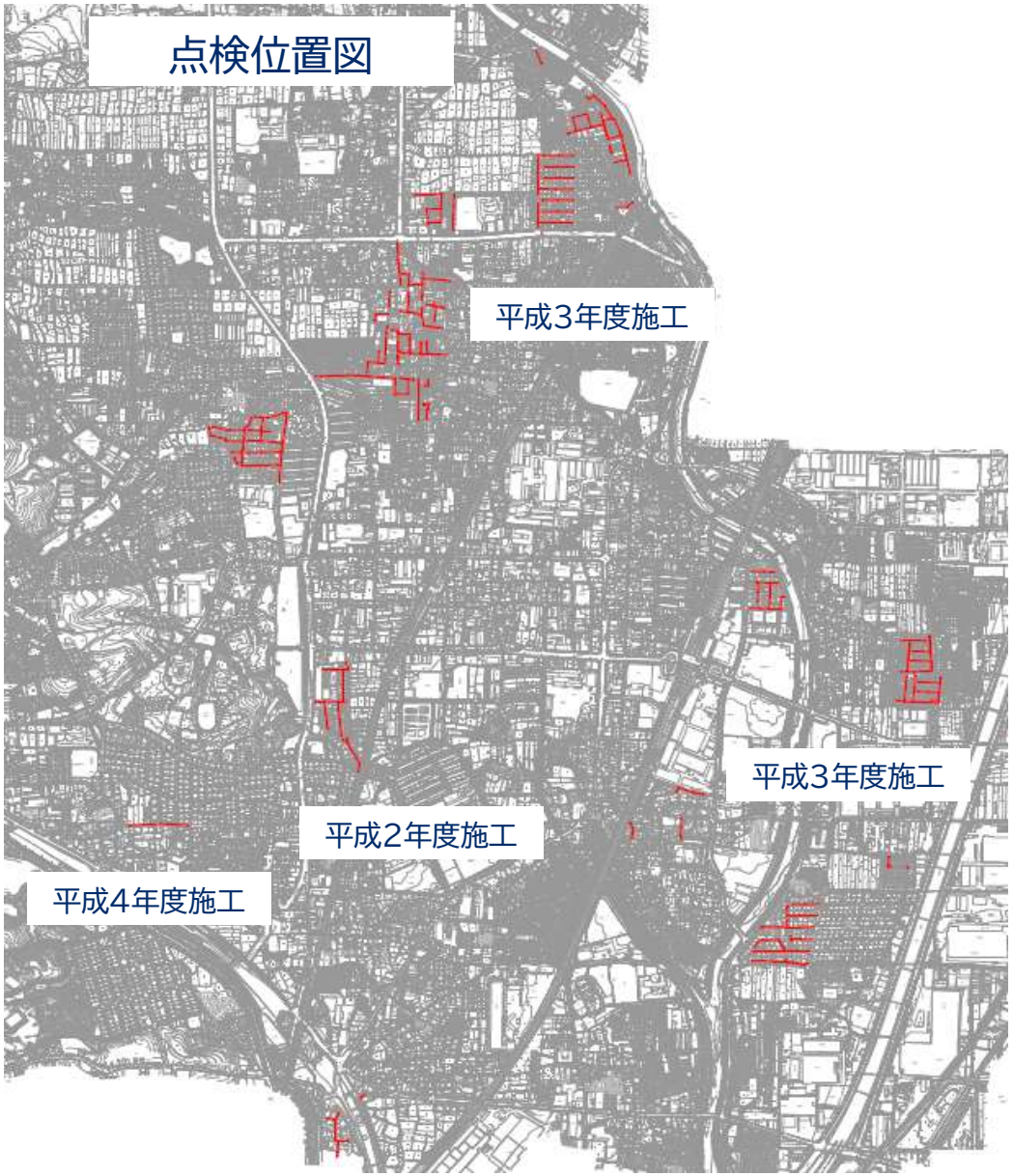
水洗化率推移



かしこ暮らしっく 長岡京

管路整備（汚水事業）

ビジョン改訂版P58



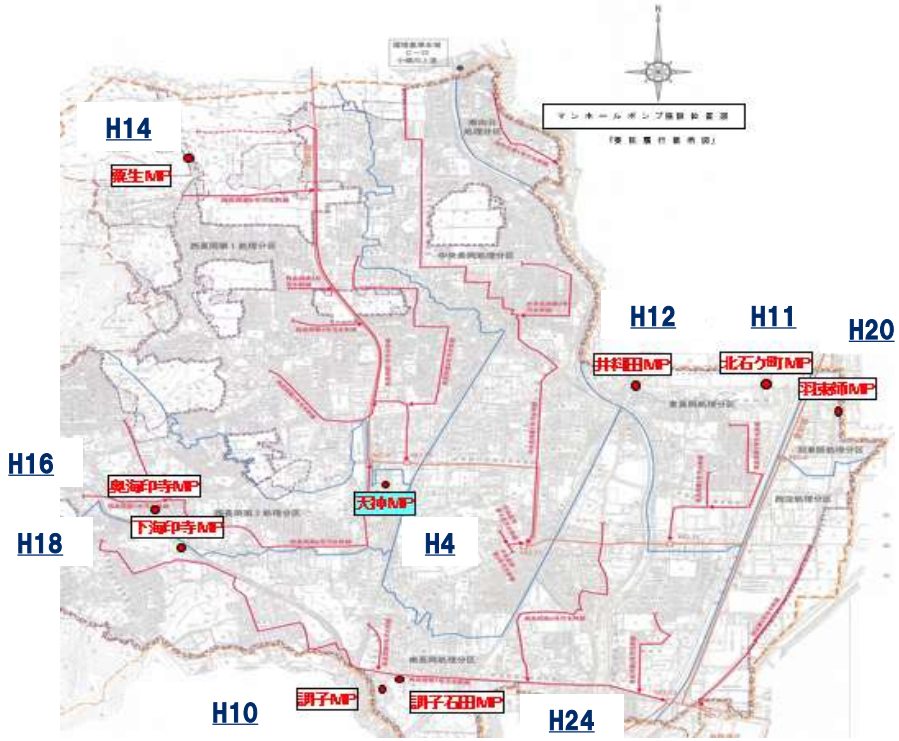
管路施設の健全性を調査する「ストックマネジメント計画（R1策定）」は、5年間で総延長228kmのうち、点検を46km完了しました。

昨年度も同様に「古い布設年度の陶管」から指標となる年間8.5kmの点検をしています。

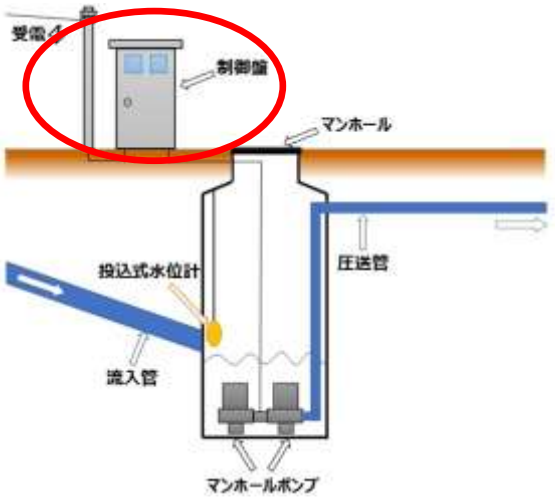
また、点検結果による不良箇所の緊急性から国庫交付金を活用し、「管渠更生 104m、人孔更生 5基、蓋改築 11箇所」等の改築工事を行って長寿命化対策（耐用年数の延伸・耐震性能の強化）をしています。

マンホールポンプ整備

ビジョン改訂版P59



☆マンホールポンプとは



下水道（汚水）の管渠施設について、整備工事は概ね完了しており、市内のマンホールポンプは９箇所設置していいます。

ストックマネジメント計画による点検・調査を兼ねた令和7年度の定期点検は、9基の月点検（10回）、年点検（2回）と故障（つまり）等による緊急時の対応（12回）を実施しました。

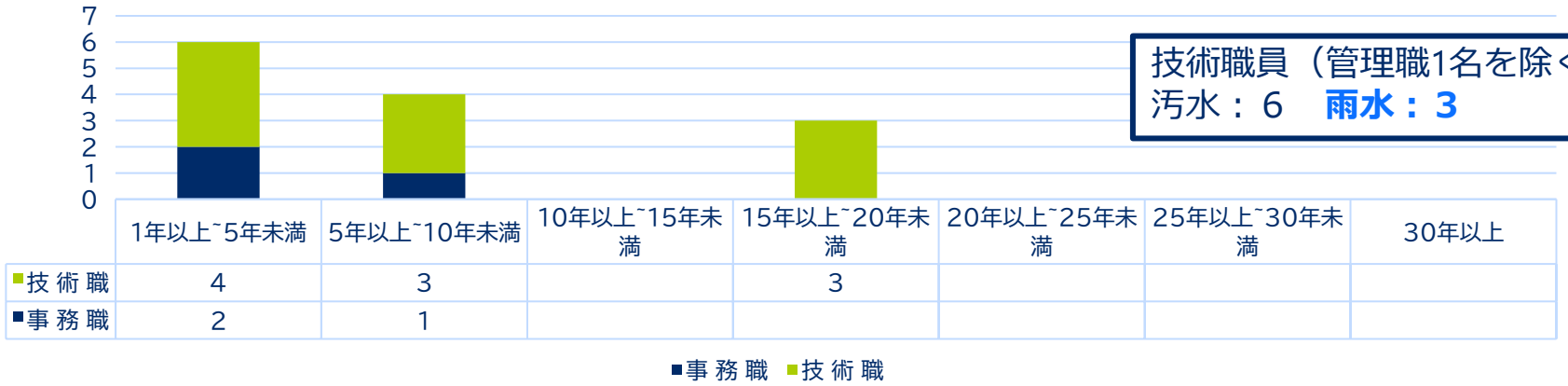
また、老朽化対策として目標耐用年数が23年を超えた天神マンホールポンプにおいて、制御盤（電気設備）等を交換しました。

今後も引き続き、適切にマンホールポンプ整備の維持管理を継続して行っていきます。

組織体制の強化

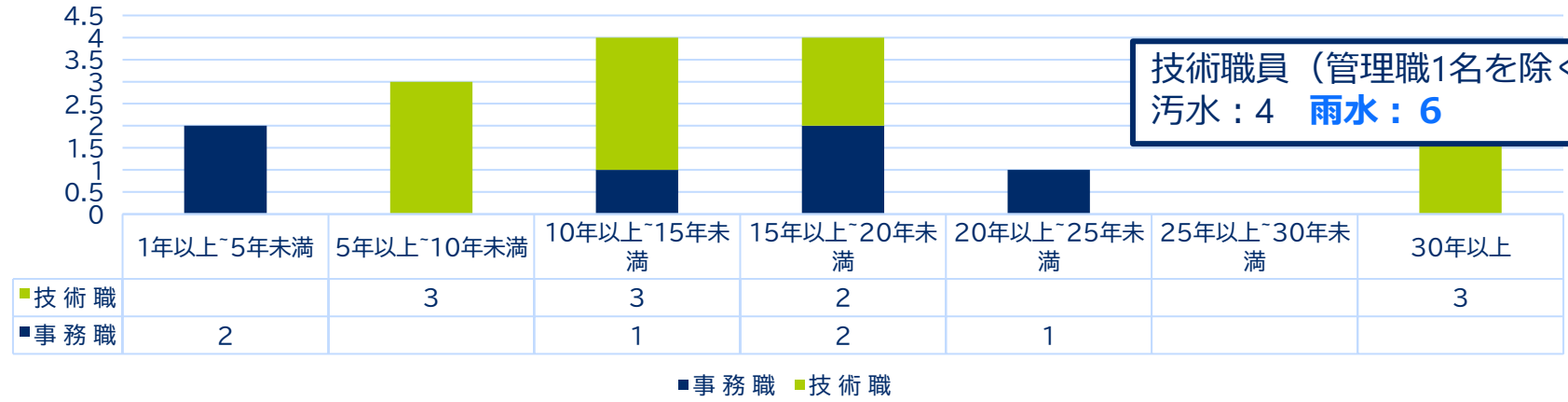
ビジョン改訂版P62

平成27年度　下水道事業職員勤続年数別構成



	1年以上~5年未満	5年以上~10年未満	10年以上~15年未満	15年以上~20年未満	20年以上~25年未満	25年以上~30年未満	30年以上
技術職	4	3		3			
事務職	2	1					

令和7年度　下水道事業職員勤続年数別構成



	1年以上~5年未満	5年以上~10年未満	10年以上~15年未満	15年以上~20年未満	20年以上~25年未満	25年以上~30年未満	30年以上
技術職		3	3	2			3
事務職	2		1	2	1		

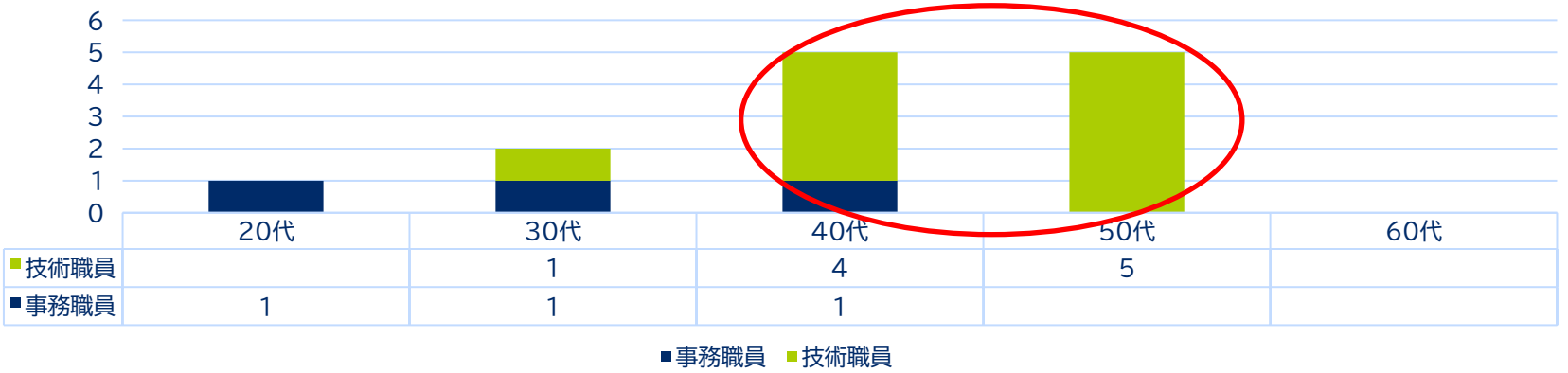
※ 会計年度任用職員、再任用職員を除く下水道事業会計職員。

かしこ暮らしっく 長岡京

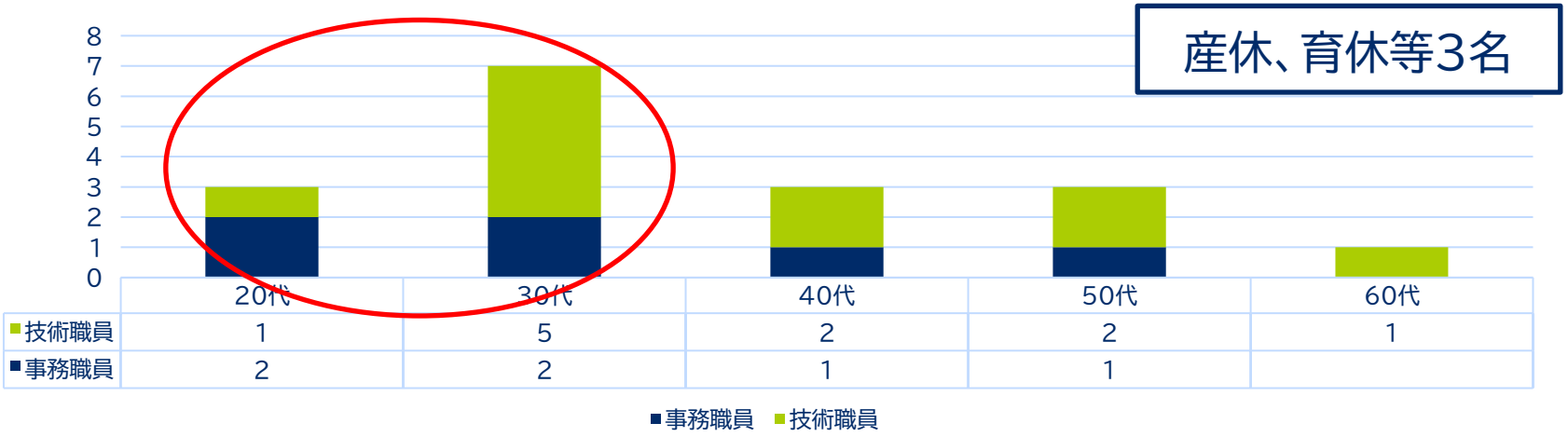
組織体制の強化

ビジョン改訂版P62

平成27年度　下水道事業職員年齢別構成



令和7年度　下水道事業職員年齢別構成



産休、育休等3名

※ 会計年度任用職員、再任用職員を除く下水道事業会計職員。
※ 平成29年度より公営企業会計へ移行。専門性が高いため、事務職員を増員

広域化の取り組み

ビジョン改訂版P64

■ 京都府桂川右岸流域下水道事業（京都市・向日市・長岡京市・大山崎町）

汚水 供用開始から50年が経過。老朽化対策と維持管理費の増加が課題。
雨水 平成7年度から、いろは呑龍トンネル事業に着手（*大山崎町を除く）。令和9年度全体事業の供用開始に向けて、南幹線（長岡京市域）の整備を進めています。

◎ 京都府へ維持管理経費の削減や更なる経費の効率化を要請します。

⇒ 流域下水道の汚水処理場である洛西浄化センター（京都府建設・運営）の維持管理費につき、令和7年度は、令和8年度以降の5年間について協議を重ね、汚水処理単価の交渉を行いました。単価は値上げとなったものの、他のコスト削減について協議しました。

◎ 国の広域化への取組みの推進に伴う京都府の検討・動向に注視し対応していきます。

⇒ ウォーターPPP（官民連携手法）導入による広域連携の検討を引き続き進めています。

経営戦略による収支計画（重点基準目標）

ビジョン改訂版P70

重点基準目標	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値
経費回収率 （100%以上）	81.96	89.67	99.09	99.17	99.06	99.49
基準外一般会計繰入金 （0.2億円以内）	2.75	1.43	0.11	0.11	0.17	0.09
資金残高 （2億円程度）	2.06	1.34	1.97	4.90	2.03	4.87

	令和6年度 中間目標値	令和6年度 検証	令和11年度 計画目標値
経費回収率	100%以上	ほぼ達成	100%以上
基準外一般会計繰入金	0.2億円以内	達成	0.2億円以内
資金残高	2億円程度	達成	2億円程度